

令和8年7月21日発行



亀戸中だより



亀中ホームページ
クリック



本校教育目標

「思いやりの心もち、主体的に行動できる人間を育成する」

「探究」「敬愛」「挑戦」

この夏、どんな未来を描きますか

—自分で自分の時間をデザインし、まだ見ぬ可能性を切り拓く—

*7月17日全校集会 校長講話より

校長 三浦 秀樹

夏休みを使って、日頃の疲れをリセットする時間も大切ですが、この夏休みの最大の魅力は、「自分で自分の時間をデザインできる」という自由さにあります。まだ見ぬ自分の可能性を切り拓くために、あなたはこの夏、どんな新しい景色を目指しますか。

道標となるのは、本校が大切にしている教育目標です。

「思いやりの心もち、主体的に行動できる人間」この言葉を胸に、君は、この夏、どんな未来を描きますか。

- ・【探求】正しい判断力の基盤となる知性を磨くために、誰のためでもない、自分のために徹底的に学びの海へ飛び込む。
- ・【敬愛】普段は照れくさくて言えない保護者への感謝を、言葉だけでなく、「お手伝い」という目に見える思いやりの行動で表現する。
- ・【挑戦】自分の未来の夢と真剣に向き合い、職業を調べたり、芸術やスポーツ、ボランティア活動など、今できる限界の努力に挑む。

どんな小さなことでも構いません。自分で決め、自分で動くことに意味があります。

「失敗と書いて、成長と読む」

これは、挑戦した人にだけ与えられる特権です。上手くいかなかった経験は、すべてあなたの未来の糧になります。傷つくことを恐れず、前を向いて挑み続けてください。

夏休みが終わる頃、一回りも二回りも逞しくなった皆さんと笑顔で再会できることを、心から楽しみにしています。最高の夏にしましょう

